

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-----------------------|----|-----------------|
| ○事業所名 | 児童発達支援・放課後等デイサービスあんじゅ | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2024年 10月 1日 | | ～ 2024年 10月 31日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 3人 | (回答者数) 3人 |
| ○従業者評価実施期間 | 2024年 10月 1日 | | ～ 2024年 10月 31日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 7人 | (回答者数) 7人 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2024年 12月 5日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 児童の特性を理解し療育へあっていること | 職員全員が保護者様に記入いただいたアセスメントに目を通す。又、プランも全員周知し療育に努めている。 | 職員間での細かい伝達もミーティングだけではなく会社の情報伝達ツールを活用する。 |
| 2 | 1日の支援プログラムが固定化されていないこと | 週案や月案を主任主導の下、職員で作成している | 前の日や当日の朝のミーティング前に最終確認を行う。 |
| 3 | 文字を大きくしたり、ペグスにて配慮を加えている。 | 児童棚や靴箱には児童の顔写真を貼っている。 | 児童によって使いやすい絵カード等を増やしていく。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|--|--|
| 1 | 地域の子供たちとの交流の機会が少ない。 | 通所している児童の年齢差（幼い子）があり近くの公園くらいしか行けていない。 | 地区センターの催しなどの情報収集を増やしフリーペーパーなども確認してへ、もう少し積極的に参加出来るように務める。 |
| 2 | 保護者会などの集まり。 | ・お客様用の駐車場の確保が難しい。 ・お仕事をされている保護者さんが多く日時を定めることが難しい。 | 当事業所ではなく場所を借りて開催することも含めて考えていく。 ・何グループかに分けて行う等。 |
| 3 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける。 | 障害児地域支援マネージャーの方の訪問の際などには相談させて頂いている。 | 必要な事柄に応じてアポイントメントを取り訪問ではなくてもZOOM等で可能か調整を行っていきたい。 |